

【別紙様式2】

令和3年度 がん教育総合支援事業「がん教育外部講師派遣」報告書

学校等名 長崎県立大村城南高等学校

担当者名 奥浦 大

電 話 0957-54-3121

F A X 0957-27-3056

実施日 令和 3年 10月 21日(木) 13:00 ~ 16:00

場 所 長崎県立大村城南高等学校 体育館

講座名 保健講話

講 師 岡田 雅彦 氏 (がん専門医・医療関係者) がん経験者等)

近隣校への案内 案内先: なし

計 校

参加者

児童・生徒
学年
(380)人

学校職員
(70)人

保護者
(0)人

他校職員等
(0)人

その他
(県関係課 6名)
(456)人

テーマと内容

我が国のがんの現状とがん患者への理解と共生
「がん」は日本人の死因の上位にある病気であり、二人に一人が罹患する可能性がある。日常生活の中でがん患者の気持ちになって考え、自分や他人を大切にすることから命の大切さを学ぶ内容である。

<当日の様子> * 事業の様子等を必ず画像で添付してください。



<講師からの指導や助言・成果>

「がん」は、現在の日本人の死亡原因の多くを占めており、二人に一人は「がん」で死亡している。とても怖い病気ではあるが、早期発見・早期治療が大切である。「ふつう」「めいわく」というキーワードをもとに、日常生活の中でがん患者の立場に立って考える場面では、生徒だけでなく私たち教員も深く考えさせられた。

生徒の感想にもあったが、多くの生徒が「がん」という病気を正しく理解し、今後さらに健康に気を付けるとともに、がん患者が過ごしやすい環境作りもしなければいけないと感じたようで、生徒の「がん」に対する意識が高くなる講話であった。

<今後の取組及び課題> * 今後のがん教育の充実に向けての活用等

がん教育の大切さが理解できる講話であった。本校では教科・保健の中で、生活習慣病の1つとして学習はするものの、「がん」を特化して学習ができていない。「がん」について正しく学習する機会を作っていきたい。